

【計画の目標】 沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観形成を目指す

- ＜目標の前提＞ 道路雑草の除去 …全ての路線で雑草が見られない(雑草の草丈が常に低い状態で管理されている)
- ＜目標のための行動＞ 道路植栽、せん定 …周辺環境に配慮した良好で自然の樹形を常に維持
- ＜目標のための取組＞ ボランティアや企業等と連携した取組 …花と緑があふれる世界に誇れる沖縄らしい良好な空間の演出



新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

基本施策1-(1)-ウ-③ 「花と緑にあふれる環境づくり」

【現在の状態】

- ①いたるところで雑草繁茂がみられる。
- ②倒木、歩道の破損及び交通障害等の箇所が多い。
- ③街路樹は強剪定により自然な樹形を保っていない。
- ④歩道幅員等の周辺環境を踏まえた植栽、剪定となっていない。

- ＜課題＞
- ①いかに予算内で効果的・効率的に維持管理を行うか
  - ②いかに良好な沿道景観を持続できるか
  - ③いかに実効性のある仕組みづくりができるか



【あるべき姿(スタンダード)】

良好な沿道景観形成 ※良好な沿道景観事例を増やし、維持する。

- ①雑草の草丈が常に低い状態で管理されている。
  - ②街路樹に係る道路利用上の安全性が確保されている。
  - ③街路樹は弱剪定による自然な樹形が基本形となっている。
  - ④草花等により華やかな景観が形成されている。
  - ⑤歩道幅員等の周辺環境を踏まえたバランスの良い植栽となっている。
- ※ゾーニングや道路規格等に応じたスタンダードの類型化を行う。



【目指す姿(カスタム)】

沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい沿道景観形成

ゾーニング(「都市地域」、「自然地域」)ごとに沖縄の自然や歴史、伝統や文化を感じさせ、観光地としての華やかさも演出した緑化目標像を定め、沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい沿道景観形成につなげていく。

ゾーニングごとの緑化目標像



基本方針

1. 良好な沿道景観形成のための取組

- ①メリハリをつけた管理区分(「重点管理路線」、「一般管理路線」)を設定する。
- ②「重点管理路線」は、ゾーニング(「都市地域」、「自然地域」)ごとに、沖縄の自然や文化等を感じさせ、観光地としての華やかさも演出した緑化目標像を設定する。  
「一般管理路線」は継続的に良好な沿道景観の形成に向けて取り組む。
- ③重点管理路線において緑化目標像を定めた「モデル区域」を先行して取り組む。
- ④モデル区域の中でも観光客が多く訪れる国際通りや那覇空港周辺等を「最重点管理区域」として、2026年の首里城復元等に向けて、年中、季節の花が咲いている沿道景観の早期整備を目指す。
- ⑤モデル区域の計画に当たっては、新たな道路緑化デザインについて、感覚的な部分をより意識した人中心の沿道景観形成も検討する。(デザイン戦略、アート戦略)

2. 「街路樹維持管理ガイドライン」の策定と街路樹データベースの整備

効率的・効果的な街路樹の維持管理を行い、良好な沿道景観を持続するための実効性のある仕組みづくりのための「街路樹維持管理ガイドライン」の策定を行う。併せて、現状把握のため、街路樹のデータベースを関係機関とも連携しながら整備する。

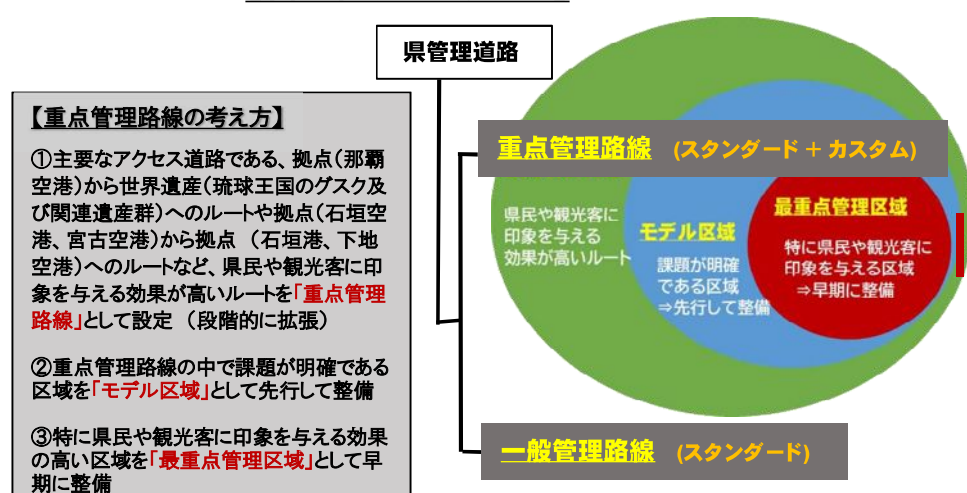
3. 道路雑草の除去

本計画の目標の前提として、雑草の草丈を常に低い状態で管理する性能規定方式道路除草を、令和6年度を目処に県管理道路で全面導入する。(※県民にわかりやすいネーミングを検討中)

4. 地域やボランティア、企業等との連携した取組(県民の意識醸成)

- 行政と地域、道路ボランティア、企業等が連携して取り組む体制を構築するため、
- ①道路ボランティア協議会や企業サポーター制度(※1)、表彰制度の創設。
- ②行政や地域ボランティア・企業等が協働して「ふれあい路線」(※2)の良好な沿道景観形成に取り組む。

【管理区分の考え方】



【重点管理路線の考え方】

- ①主要なアクセス道路である、拠点(那覇空港)から世界遺産(琉球王国のグスク及び関連遺産群)へのルートや拠点(石垣空港、宮古空港)から拠点(石垣港、下地空港)へのルートなど、県民や観光客に印象を与える効果が高いルートを「重点管理路線」として設定(段階的に拡張)
- ②重点管理路線の中で課題が明確である区域を「モデル区域」として先行して整備
- ③特に県民や観光客に印象を与える効果の高い区域を「最重点管理区域」として早期に整備

※県管理道路以外(国、市町村及びNEXCO西日本の管理道路)についても、各道路管理者等と協議・調整を行いながら、それぞれの連続性に留意し、整合を図っていく。

企業サポーター制度(※1)

- 想定される企業のサポート
  - ①企業による道路植栽(花など)の管理
  - ②企業がボランティア活動資金等を寄付
  - ③企業が特定のボランティア団体の活動資金等を寄付
- ⇒植栽スペース等に企業名を掲載した看板を設置



「道路管理者」



「地域」

Win-Winな関係を構築

「続ける」

「つなげる」

「広げる」

仕組みづくり

最重点管理区域

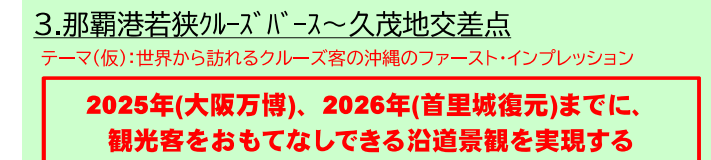
1. 国際通り～県庁周辺

テーマ(仮):世界から選ばれる花と香りがあふれる沖縄の中心地

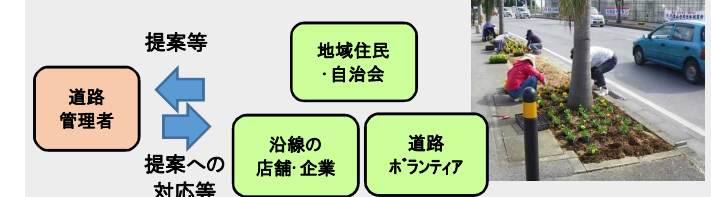


2. 那覇空港周辺

テーマ(仮):世界から訪れる花と緑であふれる日本の南の玄関口



ふれあい路線(※2)



2025年(大阪万博)、2026年(首里城復元)までに、観光客をおもてなしできる沿道景観を実現する